

レンタルおしぼり回収数量見える化プロジェクト (深層学習を活用した数量測定の実践)

経営コンサルタント・技術者

堺 康行

ys@sakai-web.jp

存在する課題・矛盾

レンタルおしぼり事業者にとって
おしぼりは重要資産

矛盾

おしぼり回収率の正確な測定が困難
(濡れ具合で重さバラバラ、配送員の技量の差、
たくさん回収した報告するバイアス)

手法・ツールの適用による解決

手法

回収測定、納品数の画一的な基準=AI+
数値計算を導入するアプリを開発

解決

レンタル先が貯めこむ、捨てる等の紛失経
路分析と対策(追加課金等)が可能に

Before(導入前)

矛盾に起因するビジネス上の課題が存在

経営者 : おしぼり紛失経路が不明、対策困難

担当 : 紛失追加課金の根拠データが整合性弱

配送員 : 紙ベースの記録作業

顧客 : 追加課金根拠がアナログ

手段

納品回収数
の画一基準

ツール(AI搭
載スマホApp)

After(導入後)

様々なステークホルダーに変革をもたらす

経営者 : 紛失対策と適切な価格設定が可能に

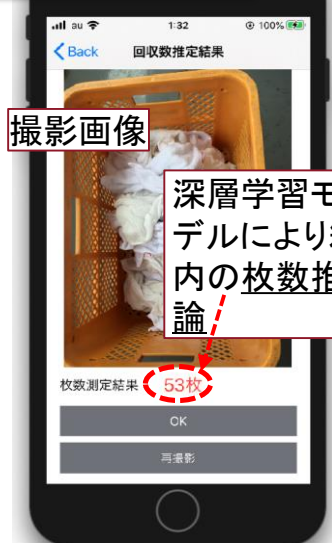
担当 : 単一基準による蓄積データが利用可能

配送員 : スマホで配送記録が完結

顧客 : 課金の基準統一による納得感

アプリ画面と主な機能

回収数推論



納品数提案

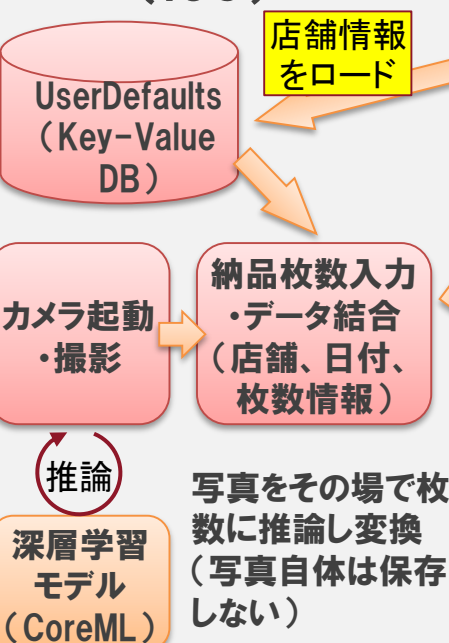


街中に置かれたレンタルおしぼりの回収時に撮影

アーキテクチャ概要

機械学習モデルをスマホAppに搭載し、推論処理を
高速・通信不要に。スムーズな現場業務に寄与。

スマートフォンApp (iOS)



AWS

AWS Gateway (HTTP POST受取)

AWS Lambda (Lambda Function駆動)

Lambda Function (JSONを解釈、SQLを発行)

Amazon RDS (クラウドRDB、データ格納)

※ 特許出願中。画面は開発初期段階のものです。